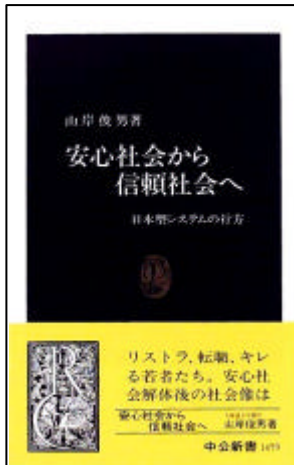


「安心社会から信頼社会へ - 日本型システムの行方 -」: 山岸 俊男著、中公新書 1479、ISBN 4-12-101479-05 (定価 760 円 + 税)、1999 年 6 月



目次

はじめに :

第一章 : 安心社会と信頼社会

第二章 : 安心の日本と信頼のアメリカ

第三章 : 信頼の解き放ち理論

第四章 : 信じる者はだまされる？

第五章 : 社会的知性と社会的適応

第六章 : 開かれた社会と社会的知性

社会心理学の実験的手法から、「信頼」に対する問題に取り組んできた著者は、他者に対する「信頼」がどのような要因から構成され、はぐくまれるのかを明らかにしている。また、その「信頼の解き放ち」理論により、現在我々が直面している日本型「安心社会」の崩壊は、既存の社会体系の崩壊であるとともに、構成員一人一人が社会的知性を身につけ、政治や経済に関する情報の透明性が高い「信頼社会」を築くための機会であると主張する。「安心」と「信頼」の問題は、まさに現在の原子力発電が直面している問題である。